

ヤマノイモ科 3 種の根茎

石 沢 進

中魚沼郡津南町反里口の台地海拔 540m に生育していたヤマノイモ科 3 種ウチワドコロ・オニドコロ・キクバドコロの根茎を朱雁氏が採集され、丁寧に洗って観察されていたので、その写真を写させて頂いた。根茎が地下部に埋もれているものを見る機会が少ないと思い、ここに掲載してみた。

改訂新牧野日本植物図鑑 (2000) の根茎の解説は次のようである。

ウチワドコロ: 「根茎は多肉の円柱形で、地中に長く横たわる。」

オニドコロ: 「茎は肥厚して横に長くのび、まっすぐなるものや、途中曲がって来るものもあり、ひげ根を出す。これは真の根茎でヤマノイモのいもとは形態学的全くちがう。」

キクバドコロ: 「肥厚した根茎は横たわる。」

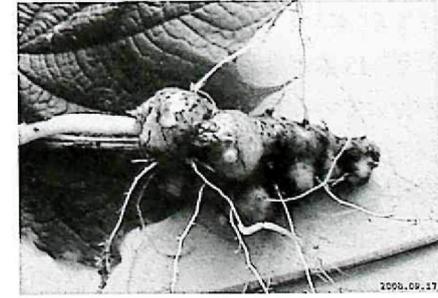
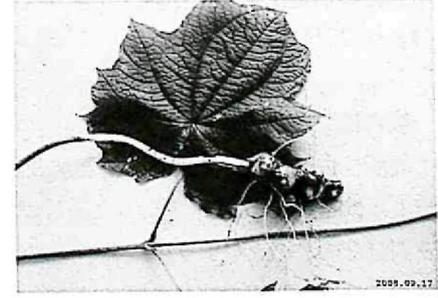
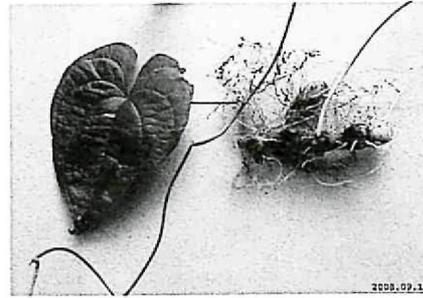
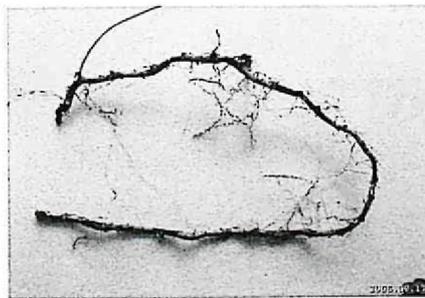
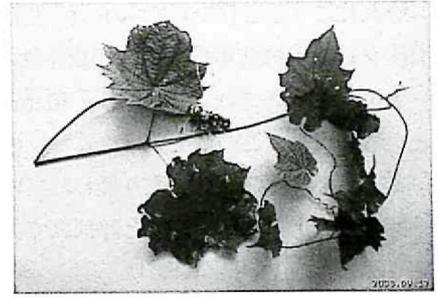
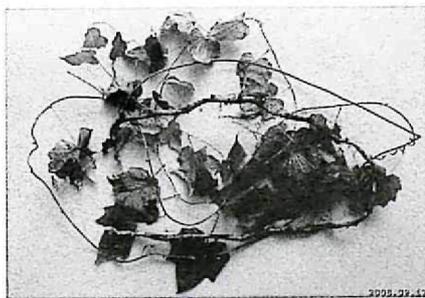
[参考]

ヤマノイモ: 「地中に直下している長くて大きな円柱形の多肉根を持っている。この根は茎の基部についた枝の下側だけのびた特殊なものである。」

掘り上げた 3 種の根茎がそれぞれ標準的な形態であるか、どうか多くの個体について見直す必要があるかもしれない。ウチワドコロ (写真左 3 枚) は長くのび、オニドコロ (写真中 3 枚) も長短があり、二股に分かれるものもある。キクバドコロ (写真右 3 枚) 肥厚した根茎が地下に真っ直ぐのびて肥厚しているように見える。

この写真を参考に各地のトコロ類の根茎を比較して、異なる情報があったらご教示願いたい。

根茎の提供して頂いた朱雁氏に謝意を表します。



ウチワドコロ

オニドコロ

キクバドコロ